

交

い

かいじあむ通信
kai

第53号

2021年2月12日発行
山梨県立博物館

山梨県指定文化財
不動明王坐像(武田不動尊)
(部分) 恵林寺蔵

山梨県立博物館

Yamanashi Prefectural Museum



2021年に生誕500年を迎える信玄公。 その履歴書を見てください！



父 信虎



信玄の顔？
武田不動尊

履歴書

ふりがな	たけだ はるのぶ	花押	
氏名	武田晴信		
生年月日	大永元年11月3日	没年月日	元亀4年4月12日
住所	甲斐国 甲府躑躅ヶ崎館		
家族構成	父 信虎 母 大井夫人 兄弟 竹松、犬千代、信繁、信基、信廉、信是、宗智、信竜、信実 定恵院、南松院、祢々、浦野氏妻、亀、下条氏妻、祢津神平妻、菊亭晴季妻 妻 上杉朝興の娘、三条夫人、諏訪頼重の娘、油川家の娘、祢津神平の娘 子 義信、竜芳、信之、勝頼、盛信、信貞、信清 黄梅院、見性院、万理姫、桃由童女、松姫、菊姫 ほか		



年	生涯略歴
大永元年	誕生、幼名勝千代か？
天文5年	元服、將軍足利義晴より偏諱を賜り、太郎晴信を名乗る。 従五位下左京大夫を拝命。
天文10年	武田氏当主の座に就く。(この頃、甲斐守護を拝命)
天文11年	大膳大夫を名乗る。
天文19年	信濃守を名乗る。
永禄元年	信濃守護を拝命。出家、号信玄、法性院、徳栄軒。
元亀3年	比叡山延暦寺より僧正位を賜る。
元亀4年	死去、戒名は恵林寺殿機山玄公大居士。
	主な戦歴
天文5年	初陣？
天文11年	諏訪出陣、宮川橋合戦
天文16年	小田井原合戦、志賀城攻め
天文17年	上田原合戦、塩尻峠合戦
天文19年	戸石城攻め(戸石崩れ)
天文22年	第一次川中島合戦

大永元年(1521)、
要害山城で
わし燦誕！

元亀4年(1573)、わしが
死んだことはすぐには公表
されず隠されたぞ。
なぜだかわかるかな？

上田原での戦いは
わしの初めての敗戦
じゃった…
苦い思い出じゃな



年	生涯
天文24年	第二次川中島合戦
弘治3年	第三次川中島合戦
永禄4年	第四次川中島合戦、上野出陣
永禄7年	飛騨出陣、第五次川中島合戦
永禄11年	駿河出陣、駿府占領
永禄12年	薩埵峠合戦、小田原攻め、三増峠合戦、駿府再占領
元亀元年	伊豆出陣
元亀2年	深沢城攻め、武蔵出陣
元亀3年	遠江・三河出陣、二俣城攻め、三方原合戦
元亀4年	野田城攻め
	以上

第四次川中島合戦のとき、
わしを襲ってきた武者
がおった。どうやら
あれは上杉謙信
だったようじゃな

輝かしい
経歴じゃな！！



武田信玄

自己紹介	和歌、漢詩、占い
趣味・特技	和歌、漢詩、占い
一番のライバル	上杉謙信
たからもの	楯無鎧、日の丸の御旗
アピールポイントなど	一番の宝は 優秀な家臣 たちじゃぞ
	・「甲州法度之次第」を制定し、自分もその内容に従うと決めました。 ・交通路を整備し、伝馬制度も確立してまちづくりに尽力しました。 ・「信玄堤」を築くなど、民のくらしが豊かになるくづくりに進めました。

開館15周年記念特別展

わしのすべてを物語る
特別展じゃ！
ぜひ博物館に
おこしください

生誕500年 武田信玄の生涯

2021年3月13日 土 5月10日 月



ライバル 上杉謙信

武田信玄像(当館蔵)、武田大膳大夫晴信入道信玄(当館蔵)、不動明王坐像(武田不動尊)(恵林寺蔵)、武田信虎像(大泉寺蔵)、
上杉謙信像(米沢市上杉博物館蔵)、川中島合戦図屏風(左隻、米沢市上杉博物館蔵) いずれも部分

学芸員 おすすめの一品

収蔵資料の見どころを
ご紹介します。



武田家家臣勢ぞろい!

たけだ に じゅうし しょうず とりいさよぶ
武田二十四将図 鳥居清信筆
18世紀(江戸時代) 木版丹絵

最も古い作例のひとつとみられる、丹絵の武田二十四将図です。信玄は画面上部中央に、その下に23名の武田家家臣の姿が、まるで軍議を行っているかのように描かれています。江戸時代前期に役者絵を始めた鳥居派の祖、初代鳥居清信(1664~1729)による作品と考えられています。

2021年 3月17日~4月19日 この期間に
常設展「江戸文化の往来」コーナー 会える!

浮世絵の歌舞伎役者 のような顔つき!!



清信は役者絵を得意とした浮世絵師! わしらは歌舞伎役者のような顔つきになっておるぞ



鳥居派は、現代まで続いている唯一の浮世絵の流派。今も9代目が活躍しているぞ

武田二十四将図って?

武田信玄とその家臣たち、あわせて24人がひとつの画面におさめられた図のことです。戦国大名やその家臣たちの姿を集めて描いたこのような絵画作品は、「集合武将図」と呼ばれています。

たん え 丹絵ってなに?

浮世絵版画の様式のひとつです。墨で輪郭線を摺り、そこに手で彩色を加えています。

約4kgの鉄の塊が炸裂する!

ほう だん
砲弾 19世紀(江戸時代)

慶応4(1868)年3月に幕府軍と新政府軍が現在の甲州市勝沼付近で激突した柏尾の戦いにおいて、幕府軍が新政府軍に撃ち込んだ砲弾の不発弾といわれています。形式は1859年にフランスで開発された野戦砲「四斤山砲」の砲弾と同じです。

2020年 12月16日~2021年 6月14日 この期間に
常設展「転換期に向き合う」コーナー 会える!

幕末日本の主力兵器!!

四斤山砲は日本では慶応2年の第二次長州征討に際して幕府陸軍が使用して以来、明治に至るまで陸軍の主力装備のひとつでした。



甲州勝沼駅近藤勇騎勇之図(部分、当館蔵)



びょう 鉚がポイント!

よく見ると発射時に削れた跡があります。

砲弾の周囲に12個の鉚が埋め込まれており、これらが砲身の螺旋状に施された溝(施条)をなぞりながら発射されることで、砲弾が横方向に回転しながら発射され、弾道が安定するという仕組みになっています。



常設展 テーマ展示

県立博物館では、約2か月ごとにテーマを変えて、常設展の展示替えをしています。



「山梨の春は、桃と桜と信玄公」 2.17[水]~4.19[月]
桜舞う春の中、山梨ゆかりの戦国武将、武田信玄にまつわる資料を紹介します。

「災いと人々 祈る・助けあう・乗り越える」 4.21[水]~6.14[月]
感染症や自然災害などと、どう向き合っていくのか改めて考えます。

「資料でめぐる山梨の旅」 6.16[水]~8.16[月]
展示室の資料をめぐって、わくわくする旅に出発!

「やまなしの人々と山」 8.18[水]~10.18[月]
2021年は恩賜林110年にあたります。山梨の山と人々との関わりなどを紹介します。

シンボル展 **生誕 200年 若尾逸平** 2021.5.22[土]~6.28[月]

甲州財閥の代表的人物として知られる若尾逸平(文政3~大正2)の生誕から200年を迎えました。現在の南アルプス市出身の若尾は、行商人から身を起し、東京電燈など大企業の経営権を手中にした、「甲州財閥」の時代を象徴する立志伝中の人物です。本展では若尾の生涯を振り返り、山梨が歩んだ近代という時代を解き明かします。



晩年の「若尾逸平肖像」(伝記『若尾逸平』より)

企画展 **特撮のDNA ~ゴジラ、富士山にあらわる~** 2021.7.10[土]~9.6[月]

昭和29年(1954)からシリーズが継続するゴジラ映画。その魅力は“特撮”という映像技術から生まれました。本展では現場で使用された約200点の貴重な資料を展示。反戦や環境破壊の警告などのメッセージが込められた映画制作時の社会背景、東宝特撮映画の魅力、日本が世界に誇った特撮の技術、特撮とゆかりのある山梨県出身の人々の活躍などを紹介します。



『ゴジラ 2000 Millennium』の撮影に使われたスーツなど実物を多数展示
TM & © TOHO CO., LTD.

企画展 **日蓮聖人と法華文化** 2021.10.2[土]~11.23[火・祝]

鎌倉仏教を代表する僧侶の1人である日蓮は、貞応元年(1222)に安房国小湊(千葉県鴨川市)で誕生しました。建長5年(1253)に法華經の教えを広める布教活動に邁進し、文永11年(1274)には甲斐国身延山(身延町)に入り、現在の身延山久遠寺の礎を築きます。今年は日蓮生誕800年という記念の年にあたります。この機会に、あらためて日蓮の生涯を振り返り、現在にまで伝えられた法華經の信仰とその文化を紹介します。

シンボル展 **曾我物語図屏風** 2022.1.22[土]~2.21[月]

建久4年(1193)、源頼朝が富士の裾野で巻狩を行った際、曾我十郎祐成・五郎時致兄弟は父の仇を討って本懐を遂げました。この出来事は謡曲や浄瑠璃、歌舞伎、絵入本や絵巻など多く芸能の題材となり、長く語り継がれています。本展では当館所蔵の「曾我物語図屏風」を中心に、曾我兄弟の仇討ちについて紹介します。

企画展 **伝える—災害の記憶展**
あいおいニッセイ同和損保所蔵災害資料 2022.3.11[金]~5.9[月]

「あいおいニッセイ同和損保災害資料」は、同社創設者の1人である廣瀬誠太郎氏が収集した資料群で、全国で発生した様々な災害に関わる内容は、重要な災害関係資料群のひとつと評価されています。東日本大震災から約10年、さらに新型コロナウイルス感染症という災いと向き合う最中にある今、「災害に向き合ってきた日本人」についてあらためて考えます。

イベントのご案内 2021.4月~9月

土 常設展スルーガイド 先着10名
常設展のガイドツアーです。
毎週土曜日 11:00~11:30

● ボランティアによる お庭の見どころガイド
四季折々の博物館のお庭を散策します。先着10名
開催日 4/17、5/15、6/19、7/17、8/21、9/18
時間 13:30~14:30

● かいじあむ古文書講座【1期】 定員30名(抽選) 申込:往復はがき
初めて古文書を学ぶ方のための講座です。
開催日(全3回) 4/24、5/22、6/26
時間 13:30~15:00
*原則として全3回参加できる方。申込:往復はがき(4月2日必着)
*7月以降、古文書講座【2期】【3期】を開催予定です。

● 古文書相談日
お手持ちの古文書についてご相談ください。申込不要ですが、事前のご連絡があれば対応がスムーズです。
開催日 6/20、9/19 (☎ 055-261-2631)
時間 10:00~13:00
*古文書の全文解説、鑑定など、お受けできない内容もあります。

日 あそぼう!まなぼう!寺子屋ひろば 先着6名
展示や歴史を楽しみながら学べる体験イベントです。
毎週日曜日 11:00~11:30

● かいじあむ子ども工房 申込:電話
博物館ならではの体験や工作ができます。
開催日 4/10、5/8、6/12、7/10、8/7、9/11
*申込:電話(☎ 055-261-2631)開催日の1か月前から受付

● 館長トーク【前期】 定員30名(抽選) 申込:往復はがき
当館の守屋正彦館長による講座です。
開催日(全3回) 4/18、6/20、8/22
時間 13:30~15:00
*原則として全3回参加できる方。申込:往復はがき(3月26日必着)
*10月以降、館長トーク【後期】を開催予定です。

□ その他イベント
・かいじあむ こどもまつり 5/4・5
・夏休み自由研究プロジェクト 合同プレゼン *日程未定。会場:アイメッセ山梨。
・かいじあむの夏まつり 8/14・15

2021年 4月							5月							6月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3						1			1	2	3	4	5	
4	5	6	7	8	9	10	2	3	4	5	6	7	8	6	7	8	9	10	11	12
11	12	13	14	15	16	17	9	10	11	12	13	14	15	13	14	15	16	17	18	19
18	19	20	21	22	23	24	16	17	18	19	20	21	22	20	21	22	23	24	25	26
25	26	27	28	29	30	23	24	25	26	27	28	29	27	28	29	30				
							30	31												

2021年 7月							8月							9月							
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	
				1	2	3			1	2	3	4	5	6	7			1	2	3	4
4	5	6	7	8	9	10	8	9	10	11	12	13	14	5	6	7	8	9	10	11	
11	12	13	14	15	16	17	15	16	17	18	19	20	21	12	13	14	15	16	17	18	
18	19	20	21	22	23	24	22	23	24	25	26	27	28	19	20	21	22	23	24	25	
25	26	27	28	29	30	31	29	30	31	26	27	28	29	30							

往復はがきでの申込方法 下記をご記入の上、申込締切日(必着)までに当館までお送りください。
 (1) 往信 表: 当館郵便番号(406-0801)、住所(山梨県笛吹市御坂町成田1501-1)、館名(山梨県立博物館)
 (2) 返信 表: ①郵便番号、②住所、③氏名
 (3) 往信 裏: ①イベント名(必ずご記入ください)、②郵便番号、③住所、④氏名(ふりがな)、⑤電話番号

特撮のDNA~ゴジラ、富士山にあらわる~ 7/10~9/6
 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、展示・イベント等の日程が変更または中止になる場合があります。

● 休館日
● 館長トーク
● 古文書講座
● 古文書相談日
● 子ども工房
● お庭の見どころガイド
□ その他イベント
 各イベントの詳細は当館ホームページなどでご確認ください。
 日程や内容は事情により変更になることがあります。

かいじあむトピックス

山梨県立博物館の旬な話題をお届けします



博物館の感染症対策

新型コロナウイルス感染症が流行するなか、博物館は感染症拡大防止対策を行いながら開館しています。来館者の皆様にはマスクの着用、手指の消毒、検温と健康チェックシートの提出などをお願いしているほか、スムーズな対応ができるよう、博物館の入り口を一カ所（サブエントランス）のみにしています。



ロビーの検温スペース

展示室はさわって楽しむ体験型のエリア、「歴史の体験工房」等を封鎖し、ソファの撤去なども行っています。密になることを避けるため、秋の特別展では展示室で行っていたギャラリートークを、展示資料の画像を紹介しながら別室で解説しました。イベントでは人数制限を設け、使用した道具の消毒をその都度行っています。

今後の感染拡大の状況を見ながら、皆様に安心してお楽しみいただけるよう、これからも対策をしていきます。ご不便をおかけしますが、ご協力をお願いいたします。

来館アンケートはご自宅で

博物館ロビーに設置していたアンケートボックスは、感染拡大防止の観点から撤去しました。みなさまからのご意見やご感想は、引き続きウェブアンケートによって募集しています。2次元コード（右）かURL（下）から該当ページにアクセスし、ご入力の上、ぜひお送りください。

アンケートにご協力ください



山梨県立博物館来館者アンケート

<https://www.pref.yamanashi.jp/kenhaku/documents/raikanshaquestionnaire.html>

利用案内

開館時間 9:00～17:00（入館は16:30まで）

休館日 火曜日（祝日の場合はその翌日）

*5/4・5は開館し、5/6に休館します。9/15～17は休館。

観覧料 常設展：一般520円、大学生220円

*高校生以下の方、65歳以上の方、障害者の方（およびその介護をされる方）は無料です。

*企画展には別途観覧料が必要です。県外在住の65歳以上の方は企画展観覧料が必要です。

*ご来館の際は、検温、マスクの着用などの感染症拡大防止対策にご協力ください。

かいじあむ通信「交い」第53号 〒406-0801 山梨県笛吹市御坂町成田1501-1

Tel: 055-261-2631 Fax: 055-261-2632

E-mail: kenhaku@pref.yamanashi.lg.jp

URL: <http://www.museum.pref.yamanashi.jp>

発行日: 2021年2月12日

編集・発行: 山梨県立博物館



山梨県の古い国名「甲斐国」の語源は街道と街道の結節点を意味する「交ひ(かい)」であるという説があります。

山梨県立博物館が「甲斐」の博物館にふさわしく、人々や情報の交流の拠点となることを願ってこの名前をつけました。

ホームページ2次元コード